



わたしたちの日本一美しい村

2013

広報

# しらかわ

4月号

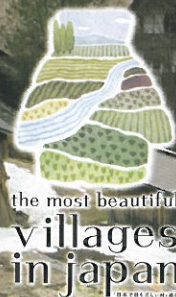
No.501

## 雪解け進み春間近！ 世界遺産白川郷「荻町合掌造り集落」

重要伝統的建造物群保存地区である荻町合掌造り集落は、平成7年12月9日に世界文化遺産に登録され、現在も合掌家屋を「売らない・貸さない・壊さない」の三原則と、村民の「結の精神」のもと保存活動に取り組んでいます。荻町交通対策委員会では、今年度4月から混雑緩和や歩行者の安全確保のため、週末を中心とした観光車両の進入制限強化を進めていきます。(P17参照)

### CONTENTS

平成25年度白川村当初予算	2
議会だより 村長施政方針など	4
新入園・入学おめでとう	11
INFORMATION 暮らしの情報	16



# 当初予算

## 2,803万円

(前年度比10.5%の減)

(6,030万円)が増額されています。普通建設事業費のなかで大きなものは、社会資本整備総合交付金(道路維持)のうち鳩谷馬狩線馬狩隧道改修事業(9,000万円)、有家ヶ原橋線有家ヶ原橋改修事業(6,200万円)椿原芦倉線芦倉橋他改修事業(5,000万円)。防災無線設備改修事業(4,665万円)、荻町伝建地区保存事業(4,453万円)、大白川園地施設整備事業(2,310万円)、県単独土地改良事業(2,065万円)となっています。

また、除雪関係事業費(1億円)、常備消防経費(9,923万円)、白山林道管理一般経費(6,222万円)、他に、空き家再生活用事業(518万円)、元気な地域づくり推進事業(402万円)、学童保育事業(70万円)、こころの健康づくり事業(66万円)、青年就農給付金(150万円)など産業面の活性化や雇用の場の確保、並びに定住人口の増加に向けた取り組みに係る予算を計上しています。

### ◆特別会計

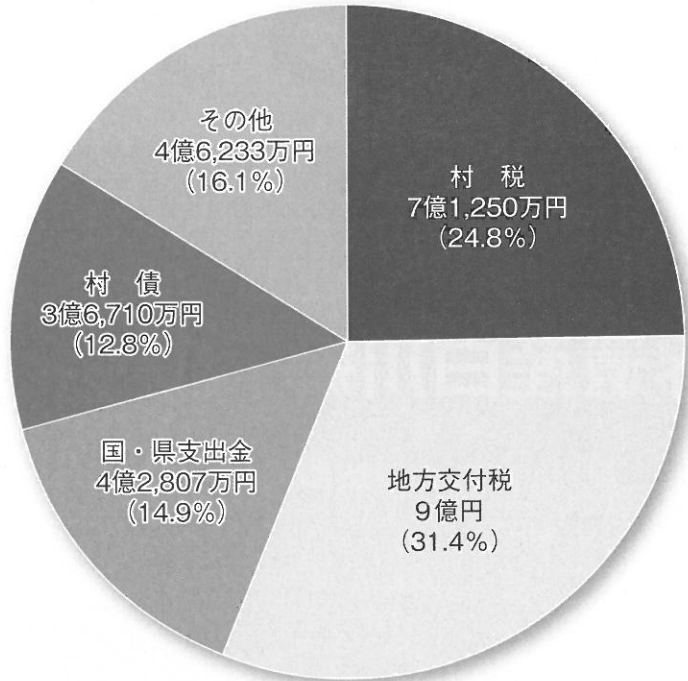
国民健康保険事業勘定は、一般被保険者療養給付費(8,400万円)、退職被保険者療養給付費(1,217万円)など減額となっています。下水道会計では、公債費の支払額(9,680万円)が増額されたことにより、大きく増となっています。

新年度予算では、第六次総合計画を基本として、村民の安心安全を確保した豊かな生活の実現に努めると共に、健全な自治体財政運営を進めていくために、行財政改革をしっかりと進めて行きます。

これらの予算の執行状況については、今後当誌面において公開していきます。また、予算の内容について、さらに詳しいことが知りたい場合は、役場総務課税財政担当財政係までお問い合わせください。

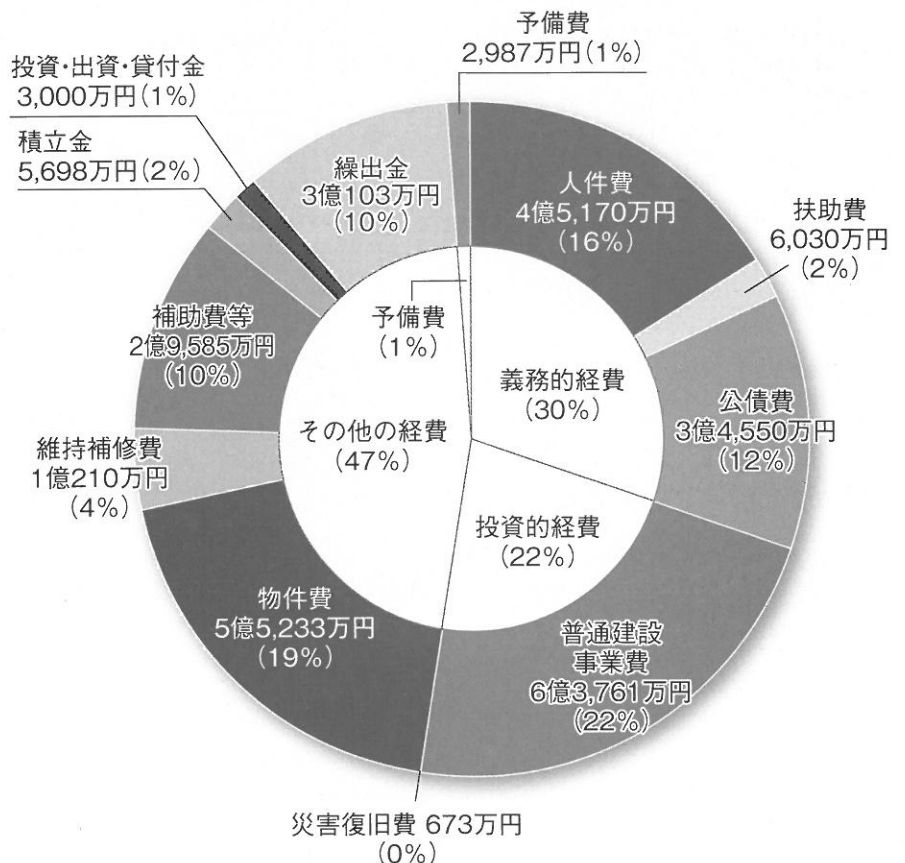
### グラフ1 一般会計歳入

歳入総額 28億7,000万円



### グラフ2 歳出性質別予算

歳出総額 28億7,000万円



## 歳出目的別予算額

款	当初予算	構成比	対前年度増減額
議会費	3,200万円	1.1%	△40万円
総務費	3億3,180万円	11.6%	△6億3,681万円
民生費	2億4,696万円	8.6%	△1,560万円
衛生費	1億2,235万円	4.3%	△309万円
農林水産業費	1億9,656万円	6.8%	5,075万円
商工費	3億4,453万円	12.0%	6,996万円
土木費	6億8,503万円	23.9%	1億3,911万円
消防費	2億2,041万円	7.7%	△1億4,474万円
教育費	3億826万円	10.7%	255万円
災害復旧費	673万円	0.2%	670万円
公債費	3億4,550万円	12.0%	4,220万円
諸支出金	0万円	0.0%	0万円
予備費	2,987万円	1.0%	△1,063万円
計	28億7,000万円	100.0%	△5億000万円

平成  
25年度

# 白川村

## 全会計 総額 37億

村の一般会計と特別会計（8会計10勘定）の新年度予算が3月7日（木）、村議会定例会で議決されました。村に入るお金と、その使い道について、詳しくお知らせします。

規模 ■ 一般会計は前年度比  
14.8%の減

一般会計の予算額は、前年度より5億円減額の28億7千万円になりました。歳入・歳出の内容については、グラフ1・2を参照ください。

特別会計の予算額は、7.6%増の8億5,803万円になりました。

各会計については、「特別会計予算額の推移」を参照ください。

一般・特別会計の予算総額は、10.5%減の37億2,803万円となりました。

### ◆一般会計・歳入 ■グラフ1

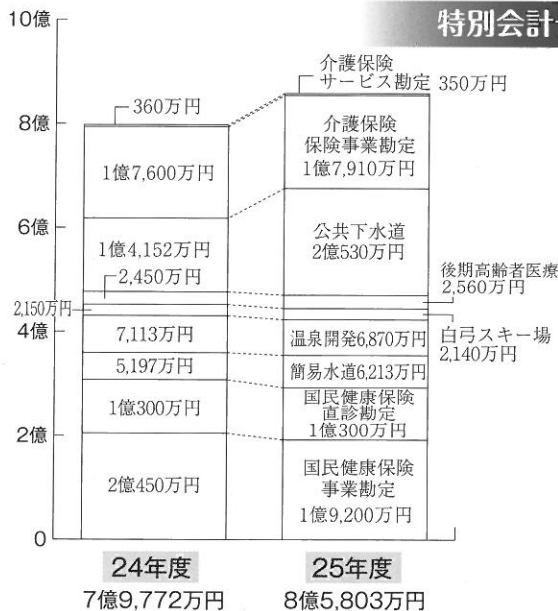
約24.8%を占める村税のうち最も大きなものは、発電施設等に係る大規模償却資産税で、4億2,515万円が計上されています。地方交付税は、前年よりも1億円増の9億円となり、村債は、鳩谷馬狩線馬狩隧道改修事業に係る起債など、約12.3%減の3億6,710万円となりました。

### ◆一般会計・歳出 ■グラフ2

第六次総合計画の実現に向けた事業着手が進められ、特に人口減少の対策を図ると共に人口増加策を横断的な連携により対策を進めていくことを基本方針として、同計画に掲げた7つの基本方針を柱として予算編成を行いました。

経常的に支出しなければならぬ義務的経費は、前年より約5.3%増となりました。内訳としまして、村職員に係る人件費（4億5,170）が減少しました。一方、公債費（3億4,550）や、福祉施策の充実などを図られたことにより扶助費

## 特別会計予算額の推移



## 平成25年度 おもな事業

### ■総務費

財産管理臨時経費	3,824万円
庁用車整備事業	820万円
空き家再生活用事業	518万円
元気な地域づくり推進事業	403万円
ふるさと博士認定事業	100万円

### ■民生費

児童手当支給事業	2,760万円
県単福祉医療費助成事業	1,013万円
障害福祉サービス費給付費	821万円
外出支援事業	719万円
障がい者地域生活支援事業	292万円

### ■衛生費

塵芥処理一般経費	2,331万円
し尿処理一般経費	761万円
住民健康診査事業	432万円
筋力トレーニング事業	397万円
こころの健康づくり事業	663万円

### ■農林水産業費

白山林道管理一般経費	6,222万円
県単独土地改良事業	2,065万円
清流の国ぎふ森林環境基金事業(森林整備)	1,505万円
中山間地域農村活性化総合事業	1,333万円
中山間地域等直接支払事業	725万円

### ■商工費

小水力発電施設管理費	2,711万円
大白川公園施設整備事業	2,310万円
踊り街道フェスティバル開催事業	1,700万円
駐車場等交通整理事業	1,134万円
荻町地区公園整備事業	328万円

### ■土木費

社会資本整備総合交付金事業(道路維持)	2億7,700万円
除雪関係事業	1億円
社会資本整備総合交付金事業(新設改良)	9,100万円
村道補修事業	3,446万円
普通河川臨時経費	550万円

### ■消防費

常備消防一般経費	9,923万円
防災行政無線設備改修事業	4,665万円
非常備消防一般経費	1,544万円
県消防操法大会経費	1,245万円
小型動力ポンプ積載車購入事業	808万円

### ■教育費

重要伝統的建造物群保存地区保存事業	4,497万円
合掌造り保存財団補助事業(総額)	1,850万円
児童生徒輸送経費	1,212万円
中学生海外研修補助事業	519万円
子育て教育推進事業	506万円

3月7日(木)から19日(火)にかけて、平成25年第1回白川村議会定例会が行われました。

議会では、村長施政方針演説の他、当初予算を含む議案等について審議され、全て原案通り可決されました。主な内容は次のとおりです。

## □白川村道路路線の認定について

路線番号 416  
 路線名 木谷下田通線  
 大字木谷字下  
 カイツ603  
 番地の2地先

次の方が白川村教育委員会の委員に選任されました。  
 任期 平成25年3月18日～  
 平成29年3月17日  
 下方亜里砂氏(鳩谷)

敷地の幅員 4.0～7.5m  
 延長 309.6m  
 から大字木谷  
 字下田通456  
 番地の5地先  
 まで

□白川村課等設置条例の一部を改正する条例について  
 企業誘致と6次産業化による観光振興を図るため組織を3課から4課に見直し、事務分掌についても再編成されました。

□白川村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について  
 人事院勧告に伴い、55歳を超える職員の昇給について改正しました。

□白川村職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例について  
 地方自治法の一部改正に伴い、改正しました。

□白川村積立基金条例の一部を改正する条例について  
 その他目的基金等の整理により改正しました。

□白川村税条例の一部を改正する条例について  
 地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、改正しました。

□白川村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について  
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の改正に伴い、改正しました。

□白川村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について  
 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準が変更されたため、改正しました。

□白川村道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について  
 道路法の一部改正に伴い、村道の構造の技術的基準を定めました。

□白川村移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について  
 高齢者、障害者等の移動等

の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、基準を定めました。

□白川村道に設ける案内標識等の寸法定める条例の制定について  
 道路法の一部改正に伴い、案内標識等の寸法を定めました。

□白川村簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について  
 水道法の改正に伴い、改正しました。

□白川村下水道条例の一部を改正する条例について  
 下水道法の改正に伴い、改正しました。

□白川村指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定について  
 介護保険法の改正に伴い、指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定めました。

□白川村指定地域密着型サービス事業者の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について  
 介護保険法の改正に伴い、指定地域密着型サービス事業

## 平成24年度補正予算

□一般会計 (第5回)	
減額:	3,922万1千円
計:	39億3,533万4千円
減額の主なもの: 消防施設費など	
□国民健康保険特別会計 (第4回)	
(事業勘定)	
増額:	71万4千円
計:	2億2,854万1千円
増額の主なもの: 一般被保険者療養給付費など	
(直診勘定)	
減額:	111万0千円
計:	1億181万4千円
減額の主なもの: 施設管理費など	
□簡易水道特別会計 (第3回)	
減額:	125万3千円
計:	4,829万3千円
減額の主なもの: 予備費など	
□温泉開発特別会計 (第4回)	
減額:	213万1千円
計:	7,928万6千円
減額の主なもの: 一般管理費など	
□白弓スキー場特別会計 (第4回)	
減額:	145万0千円
計:	2,866万5千円
減額の主なもの: 索道管理費など	
□公共下水道特別会計 (第4回)	
減額:	2,192万6千円
計:	4億6,745万1千円
減額の主なもの: 施設整備費など	
□介護保険特別会計 (第3回)	
(保険事業勘定)	
減額:	56万4千円
計:	1億8,945万8千円
減額の主なもの: 介護予防サービス給付費など	
(サービス事業勘定)	
減額:	23万4千円
計:	351万0千円
減額の主なもの: 一般管理費	
□後期高齢者医療特別会計 (第2回)	
減額:	17万4千円
計:	2,408万6千円
減額の主なもの: 保健事業費など	

の人員、設備及び運営に関する基準を定めました。

□白川村指定地域密着型介護予防サービス事業の人員設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について

介護保険法の改正に伴い、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定めました。

□大野郡白川村から高山市への事務に関する規約の一部を改正する規約について  
障害者自立支援法の改正に伴い、改正しました。

## 平成25年度 白川村長施政方針

本日ここに、平成25年第1回白川村議会定例会の開会にあたり、村政運営に関する私の所信と予算編成の基本方針並びに主要事業の概要について説明申し上げ、広く村民の皆様並びに議員各位のご理解とご賛同を賜りたいと存じます。

私が村民の皆さまから村政

を託していただき、2年が経過しようとしております。この間、「いつまでも住み続けたい村へ」を目標として、多くの皆様のご支援やご協力をいただき、ご期待にお応えできよう全力で取り組んでまいりました。

この目標は、本村にとっての最も重大かつ、喫緊の課題であるからであります。本村の人口は、平成17年の国勢調査において1,983人でありましたが、平成22年の同調査では1,751人と減少し、国勢調査開始後初めて1,800人を下回るなど、人口減少に歯止めがかからない状況にあります。人口の減少は単に村民の数が減るのではなく、就業者人口の減少による経済成長の弱体化や、少子高齢化が更に加速し若年層の負担が大きくなるなど、経済や福祉の観点からも負の連鎖に繋がる危険性があるからであります。特に、これらの影響によって、未来を担う子どもたちへ大きな負担となることから、今の我々の時代にアクションを起こし、輝かしい未来を子どもたちに伝えていかなければなりません。こうした危機感を持ち、的確かつ、スピード感をもって企業誘致の推進と、若者の雇用の場を確保し、Iターン・Uターンに

よる定住人口の増加を図ることが、ひいては「子どもが増える」ことにも繋がっていくと考えております。

雇用対策及び地域産業の活性化を重要施策とし、庁内プロジェクトチームの創設をはじめ、積極的な企業への誘致活動を推進してまいりました。この結果、本年2月には米粉加工工場が操業を開始されました。また、ホテルを核とした漬物工場の経営プランなどの具体的な話し合いを進めており、さらには酒蔵醸造会社や食品加工会社など企業誘致に向けた交渉を展開しております。こうした地域産業の活性化に向け、村では平成23年度より観光基本計画の策定に取り組みしており、本年中に完成をいたします。この基本計画に記された新たな観光戦略に基づき、産業・資源・人材の質の向上を図ってまいります。先ずは、計画を実現させるための推進体制づくりを行うとともに、訪日外国人の受け入れ強化や、世界遺産ルートとの確立に取り組みます。加えて、白川郷ブランドとして売り出すことのできる新たな食事メニューや特産品開発を支援することにより、客の獲得を目指します。また、もう一つの重要課題

であります、村民の安心安全な村づくりを軸とします。と、東日本大震災をはじめ、台風やゲリラ豪雨など大きな被害が発生しております。よって、様々な災害を想定し村民の生命と財産を守るための基本指針として「白川村地域防災計画」を策定し、行政防災無線のデジタル化をはじめ、災害時の情報拠点となる庁舎の耐震化工事を実施しております。村道においては、昨年策定いたしました「橋りよう長寿命化計画」を基に、老朽化した橋りようの改修工事を進めております。

そうした中、10年ぶりとなる防災訓練を実施いたしましたところ、早朝より多くの村民の皆様にご参加いただき、防災意識の高さを感じさせていただきました。訓練開催にあたり、ご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

昨年末には荻町区の大寄合におきまして、大型車両に引き続き世界遺産集落内への普通車の乗入制限をご英断いただきました。同集落内への観光車両の乗入りに関しましては、平成7年の世界遺産登録当初から問題視されており、長年の懸案とされてきた問題であります。地区住民をはじめ、観光客の安全に対する向

上が図られることはもちろん、景観が保全されることは村内外から高く評価されております。荻町区民の皆様に対して、心より感謝申し上げます。今後、村行政といたしましても、旧荻町駐車場の公園化整備事業及び、白川診療所移転事業等の公共施設整備をはじめ、おもてなしマインドの向上等のソフト事業を積極的に進めてまいります。

こうしたマニフェストの遂行並びに、第6次白川村総合計画基本計画編に掲げられた7つの基本姿勢を着実に進めるとともに、改めて村行政の主役は村民皆様であること、を私自身の心に強く刻み、全力で村政運営に取り組みまいります。第6次総合計画の重要政策に位置付けられた7つの基本方針に沿って、主要事業をご説明いたします。

## 【自然と共に生きる心】

本村の森林総面積は村全体の約95・3%を占めており、豊かな森林には郷土を保全する機能や水源涵養機能、自然景観を維持する機能など、生活に直結する重要な役割を担っております。これらの美しい豊かな森林を守り、活用するため、森林環境税を財源とする基金を用いて実施する

「清流の国ぎふ森林・環境基金事業」により、カシノナガキクイムシの駆除並びに被害木伐倒や有害鳥獣対策を実施いたします。また、天生県立自然公園内にある外来植物を飛騨市と連携し駆除作業を実施いたします。

次に、民有人工林の経営を支援するために、森林整備地域活動支援事業を新たに実施し、森林を活用した情報収集、森林調査、境界の確認等について、森林組合の協力を得て、森林経営計画策定に係る支援を実施いたします。

白山国立公園に位置する大白川園地を、より多くの方々自然の素晴らしさを感じていただくため、昨年度より進めてまいりました大白川園地施設整備事業をより具体的な整備事業を進めてまいります。野営場のトイレ改修、及びキャンプ場テントサイトの改修、並びに遊歩道の整備の他、安全性の確保から白水の滝観瀑台の改修工事を行います。また、施設整備事業に合わせて大白川渓谷ウォーキングを昨年度に引き続き実施すること、大白川の自然により親しみやすい環境づくりを指してまいります。

一方、昨年度は村内において複数件のゴミ等の不法投棄が頻発いたしました。これは、

東海北陸自動車道等の道路事情が改善されたことによる村外からの不法投棄者が増加したものと推測しております。山林等における不法投棄が発生しないようパトロールを強化し、対策を進めていきます。

豊かな自然環境を後世に伝えていくため、昨年度より進めております「ふるさと博士認定事業」につきましては、NPO法人白川郷自然共生フォーラムからのご協力をいただき、試行運用を開始いたします。

### 【郷を尊ぶ心】

道路交通網の整備により高山市など近隣都市への移動時間は大幅に短縮され、通勤・通学・通院・買い物等の移動が大変便利になり、村民の生活環境は大きく向上しております。しかし、整備が遅れている東海北陸自動車道の早急な4車線化工事着工や、国道156号線の福島バイパスの改良事業、スノーシェッド等の防災工事について、今後も粘り強く国、県に要望をしまいにあります。特に、国道156号線整備促進については、新たに「郡上市・高山市・南砺市・砺波市と白川村」の4市1村で構成する期成同盟会を立ち上げ、県並びに国に

対して強く要望してまいります。

鉄道面においては、平成27年春には、北陸新幹線が金沢まで開通し、富山県高岡市にこの開業に合わせて新高岡駅が開設されます。これにより関東圏へのアクセスが向上し、関東方面からの輸送能力がこれまでの3倍に増加するものと試算されていることから、北陸方面への二次交通網の整備等について、関係自治体と連携を図りながら進めてまいります。

国内では、公共構造物の老朽化による甚大な被害が発生しております。村でも、村道において、安全点検の実施や「橋りょう長寿命化計画」に基づき、劣化改修工事につきまして、有家ヶ原線有家ヶ原橋改修事業をはじめ、御母衣長瀬線長瀬橋改修事業、椿原芦倉線芦倉橋他改修事業等を実施し、安全確保に努めてまいります。また、落石や雪崩などの自然災害に備え、鳩谷小呂線法面改良や木谷稗田線法面改良、並びに御母衣長瀬線法面改良などを実施してまいります。

防災行政無線設備改修事業に関しましては、各家庭等に配備しております個別受信機の更新等を行い、Jアラートシステムをはじめ緊急情報の

伝達に役立ててまいります。非常備消防に關しましては、設備や備品管理の徹底をいただき、消防用積載車等の更新時期の見直しを進めてまいります。

また、平成26年度に開催を予定しております岐阜県消防操法大会の開催に向け基金を創設し、開催準備を進めてまいります。

### 【誰もが安らげる心】

高齢者の外出支援策として始めました「まめなカー」の運行に關しまして、当初は利用者の戸惑いもあったとお聞きしますが、徐々に利用者も増え、貴重な交通手段として利用いただいております。運行に關しまして、高齢者以外にも病氣や怪我などの交通弱者の方々の利用も検討させていただくなど、便利で利用しやすい形態に改善してまいります。

筋力トレーニング事業に關しましては、高齢化や生活習慣の変化に伴い、高血圧や糖尿病などの罹患率が高くなっています。それにより様々な病氣が引き起こされ、介護を必要とされる人が増加している現状となっております。村民の皆様には、いつまでも健康で元気に毎日を過ごせるよ

う、健康維持に努めていただきますと思います。また、住民健診審査事業や癌検診推進事業を推進し、病氣等の早期発見・早期治療を進めてまいります。

2月1日現在、本村の高齢化率が29.2%となっております。その割合は年々増加しています。この様な中、高齢者が生涯を通して安心して生活できるように、居宅介護支援事業所運営委託事業、並びにホームヘルプサービス事業など、高齢者福祉施設の整備を進めると共に、高齢者世帯への緊急通報サービス事業等の支援策の充実を図ってまいります。特に、在宅介護を続けておられる介護者への支援策として、介護手当支給額を2倍の月額10千円、子育て世帯には3倍の15千円に増額させていただいた他、人工透析者の通院に要する費用負担額の無償化を進めるなど、きめ細かな支援事業とさせていただきます。

高齢者世帯への支援策として「孫の行政」を謳い、屋根雪下ろしや除雪支援について村民皆様と協議させていただいてまいりました。こうした中で、一部地域におきまして、地域住民の皆様が中心となりボランティア組織を立ち上げ活動されたことは、非常